

VISION 2036

兵庫県立大学ビジョン

2036

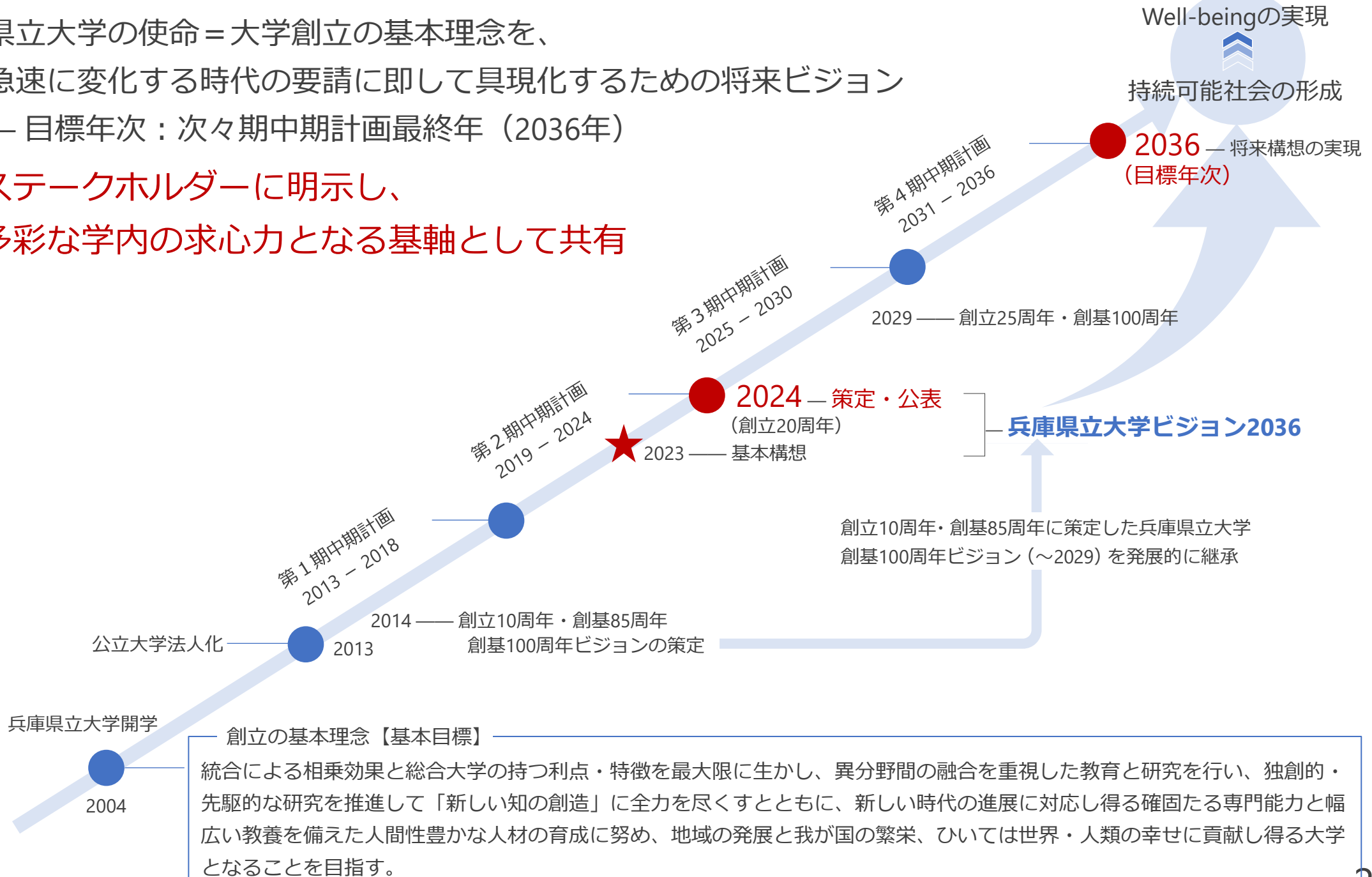
将来構想

＜概要版＞

令和6年11月17日

県立大学の使命＝大学創立の基本理念を、
 急速に変化する時代の要請に即して具現化するための将来ビジョン
 — 目標年次：次々期中期計画最終年（2036年）

ステークホルダーに明示し、
 多彩な学内の求心力となる基軸として共有

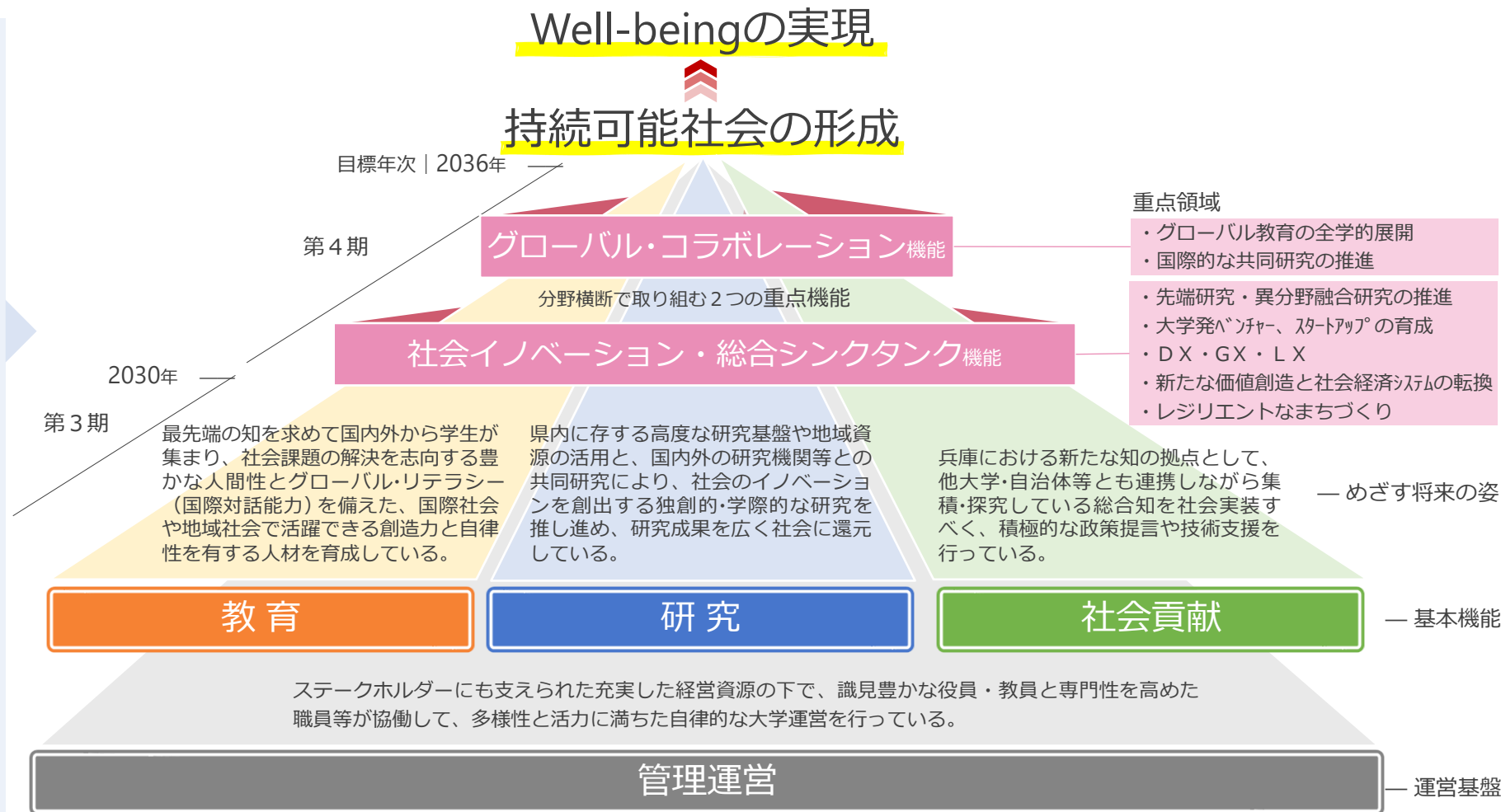


社会課題

- ・人口減少・超高齢化
- ・地球からの警鐘
- ・経済構造の変容
- ・価値観と行動の変化
- ・テクノロジーの進化
- ・世界の成長と一体化

本学の基本姿勢

- ・他にないものを創る
- ・とがったものを創る
- ・世界に通用するものを創る
- ・未来社会が求めるものを創る



対応すべき課題と本学の基本姿勢

運営の根本となる考え

構想のコンセプト

真理の探究を基盤としたグローバルで独創的・学際的な教育研究による個と社会のWell-beingに貢献する新たな知の拠点の共創

創立の基本理念

- ・異分野間の融合を重視した教育と研究
- ・独創的・先駆的な研究による「新しい知の創造」
- ・確固たる専門能力と幅広い教養を備えた人間性豊かな人材の育成
- ・地域の発展と我が国の繁栄、世界・人類の幸せに貢献

3大学の歴史と伝統

神戸商科大学

姫路工業大学

県立看護大学

3

先端的な研究への挑戦

世界に通用する先端的な研究の推進と人材育成、社会実装につなげる仕組みを構築

- 水素先端性を生かした研究
- 次世代半導体用微細加工技術の開発
- スーパーコンピュータ富岳を活用した企業との共同研究 など

〔次世代半導体用微細加工技術の研究開発〕

New SUBARU放射光施設を核として先端半導体に欠かせない卓越技術（次世代EUVL研究開発）の研究に取り組み、世界トップクラスの研究拠点を目指す。

このため、外部資金を獲得して基礎研究や企業との共同研究等を推進するとともに、半導体人材育成センターの設置や社会実装のための拠点づくり(協働ラボ)に取り組む。

New SUBARU放射光
施設を核とした
先端半導体研究

● 主な外部資金の獲得見込み

卓越研究	民間	寄附講座3億円 直接寄附3億円 (R6-R8(見込み))
	国補助金	J-Peaks55億円 (R7-R11(申請中))
機器整備	企業版ふるさと納税 9億円(R5~R7(見込み))	

※その他共同研究等も拡充予定

協働ラボ

先端研究拠点

卓越的研究推進センター 研究人材育成センター

連携

活動を
ガバナンス

社会実装基盤(協働ラボ)

先端研究共創機構
(仮称)

〔最先端フォトン(光子)を用いた基礎学理推進〕

播磨科学公園都市に集積する先端研究拠点・施設とも連携し、播磨理学キャンパスに放射光研究拠点を設立。理学研究科内の研究センターと連携してSPring-8-Ⅱの性能を最大限生かせるようシステムの研究・開発に取り組む。

先端研究所 との連携

理化学研究所・
高輝度光科学研究
センター・量子
科学技術研究
開発機構・日本
原子力研究開発
機構

学際研究の 発展・開拓



SPring-8-IIの性能を顕在化

先端ビームラインのフロー型新規利用システム

SPring-8キャンパス内
放射光研究拠点

放射光科学
研究所(仮称)

オンサイト先端基礎研究 マネジメント

理学研究科

- ・ フォトンサイエンス研究センター
新規光計測法の開拓
- ・ バイオダイナミクス研究センター
先端光源によるバイオ研究
- ・ 共同利用機器センター
最適手法の選択

先端研究施設群

X線自由電子レー
ザー施設SACLA・
大型放射光施設
SPring-8・New
SUBARU放射光
施設

理系人材育成 産学連携研究

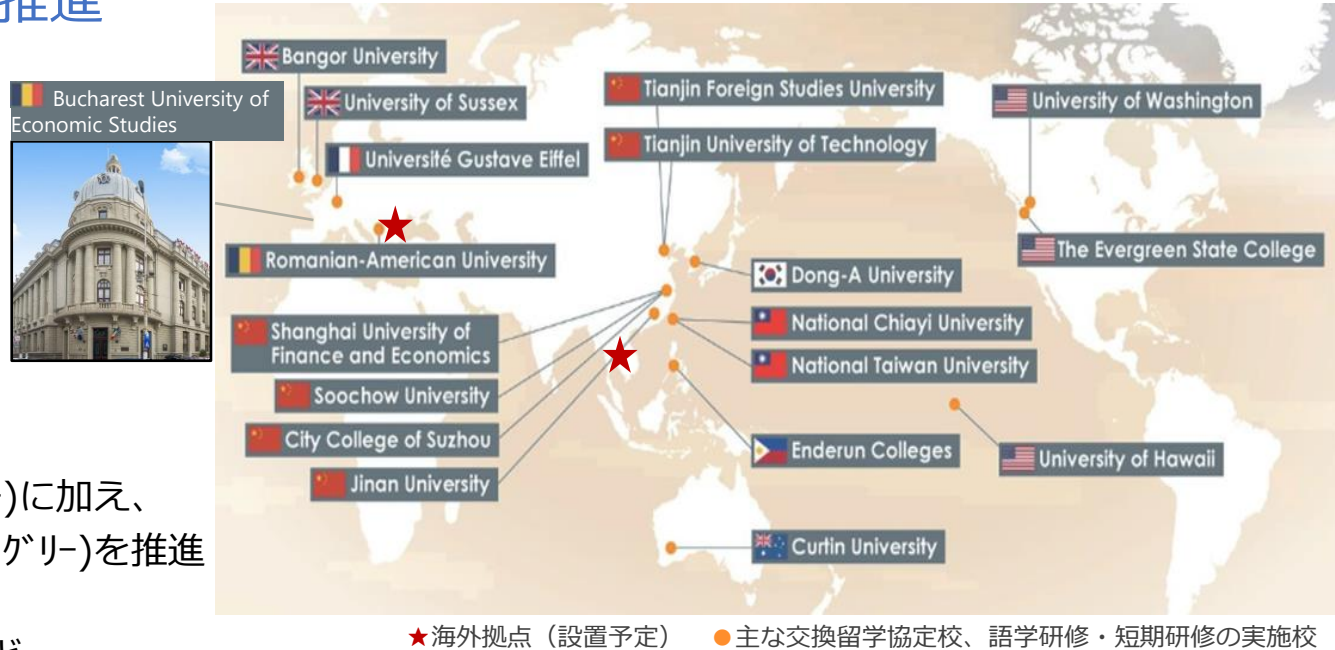
高度研・県機関・
企業との共同研究等

海外拠点の拡充・学術交流協定の推進

留学や海外インターンシップ等を調整・支援する海外拠点（サテライトキャンパス）を新たに現地に設置。協定締結校を拡充し、DD(ダブルディグリー)、TD(トリプルディグリー)など海外大学との研究・教育を一層推進

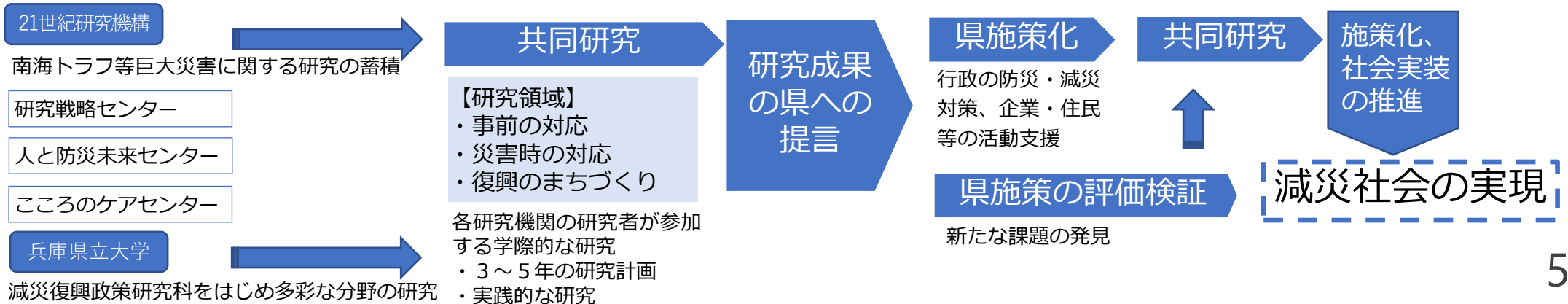
〔協定締結校との連携〕

- ルーマニア、タイ等に海外拠点を設置
- 本学と協定校で相互に学位を授与(ダブルディグリー)に加え、協定校の連携先大学も交えた学位授与(トリプルディグリー)を推進
- スパコン富岳、New SUBARU放射光施設等
本学のリソースを活用した研究の推進 など



防災・減災対策への貢献

県のリーダーシップの下、ひょうご震災記念21世紀研究機構と県立大が連携し、これまでの被災地支援・災害研究で得た知見を活かして、防災減災対策の施策化・社会実装に取り組む



学部等再編 将来像の実現に向け、重点機能・領域の取組を推進する学部等再編を遂行

学部・研究科	内 容
国際商経 _{学部}	経済学を基礎としたデータ駆動型政策科学系のコースを設置 グローバル・ビジネスコース（GBC）を拡充
社会情報科 _{学部}	入学定員を100人（現行）から160人へ
環境人間 _{学部}	学科を再編し、グリーン・サイエンス系の学科を新設 地球環境や地域の自然環境に関する科学的知見に基づき、気候変動や地域環境の荒廃等がもたらすリスク評価、有機農業を含む環境保全型の次世代アグリビジネス、新資源・エネルギー開拓、食創造等を関連付けた先進プログラムを通じて、持続可能な地域社会の創造に貢献する人材を育成
工 _{学部} 工学 _{研究科}	・学部 学科（現行3学科）を1学科に再編 地域企業等のニーズに加え、DX・GX・LX・MX*の社会課題に応じた教育プログラムを柔軟に展開 ・研究科 6専攻を1専攻に再編し、知能情報分野を設置

*「MX」は「Material Transformation（マテリアル・トランスフォーメーション）」の略。ものづくりや材料開発を通じて、社会を変革することを指します。

※増員を踏まえた他での定員減も併せて実施

高大連携の充実

- 中高大連携教育を生かした魅力ある教育プログラム
(探究型グローバルリーダー育成など)

- 附属高校との連携の充実強化と県内高校への展開

〔附属中高からの一貫教育〕

生徒が大学での研究・教育を体験する機会を設け、兵庫県立大学ならではの魅力を附属中高生に発信



〔県内高等学校との連携強化〕

- ・SSH（スーパーサイエンスハイスクール）、国際系高校等の県内高校との連携強化
- ・県内高校への出前授業の拡充
- ・大学キャンパスで「総合的な探究の時間」の研究発表会を実施
- ・大学オープンキャンパスへの参加促進

教養教育の充実・出口の質保証

● 県立大の強みと特色を生かした教養教育プログラムの展開

- ・ グローバル教育・データサイエンス・副専攻・学際ゼミなど
文理横断・文理融合教育
- ・ 産学公・地域と連携した魅力ある教育プログラムの展開
- ・ 研究科・研究所の持つ最先端の科学技術の活用

● 目に見える形で学修成果を積み上げ、キャリア形成を支援

〔キャリア支援の強化〕

初年次からの
キャリア教育 各専攻ごとの
キャリア教育

入学

学修成果の
積み上げ

〔ディプロマー・ポリシーの具体的運用〕

- 学修者本位の教育の実現
- 教育・学修成果の把握・可視化

地元企業や卒業生、
学生等が求める声を
カリキュラムに反映

卒業

大学院
進学

優秀な人材の育成・輩出
多様なキャリア形成

新長田ブランチの開設 (R7.1プレオープン)

新長田キャンパスプラザ内(5階)に社会価値創造機構の神戸拠点として設置。企業人材のスキルアップや起業家の育成・支援を通じて、まちの賑わいづくりに貢献

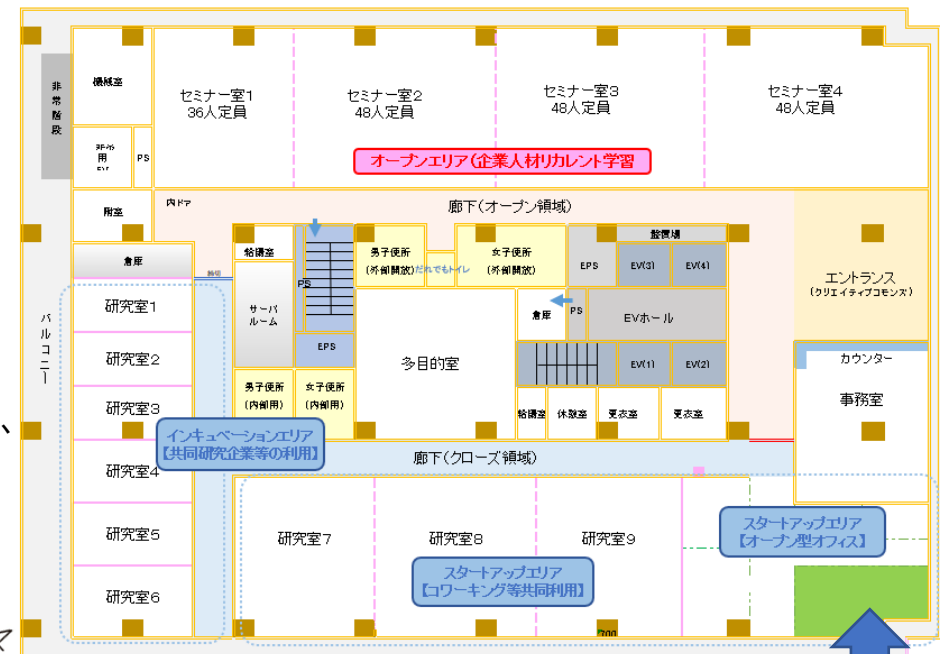


○所在地 神戸市長田区腕塚町5丁目
(腕塚5第3工区)

○施設概要 鉄骨造9階建、延床面積約12,000㎡
5階部分(専有部1,261㎡)

○他入居施設 兵庫県立総合衛生学院(1~4, 9階)、
兵庫教育大学(6~8階)

○プレ・オープン 2025年1月(予定)



数理最適化データサイエンスセンター

- データサイエンスの研究者・実務家による産学連携・社会実装の推進
- 企業データの有効活用への支援
- 教員・学生向けデータ活用教育

機能

主な取組

セミナー室等
生涯学習拠点機能

- 中小企業従業員向けリスクリング教育
- 社会人向けリカレント教育 ● 土曜開講・副専攻等の講義・演習 など

共同研究等
産学連携拠点機能

- 社会価値創造機構の神戸ブランチとして産学連携を推進
- データサイエンスを活用した企業支援 ● 生活関連企業との共同研究

起業支援等
地域との連携拠点機能

- 大学発ベンチャー等起業支援
- 政策科学研究所など地域課題解決に向けて協働する拠点